



学校だより

中央小学校



令和元年度
5月号

元号が「令和」に

今月の1日からついに時代は「平成」から「令和」へと変わりました。今年「平成31年」と「令和元年」が入り交じってややこしい一年になりそうですね。よく「平成生まれは・・・」と言われていたのが、しばらくすると平成生まれの人が「令和生まれは・・・」と言うようになるのでしょうか。いずれにしても、平和な時代が続くことを祈っています。



ある日の児童玄関のことです



入学式が終わって、一週間が過ぎた頃のことでした。朝、玄関で靴をはきかえていると、4年生の女の子が新1年生の弟を連れ、そばへ来てくれて、「校長先生、うちの弟がね、『みんな「チーム中央」やで』という言葉聞いて、『僕も「チーム中央」の仲間だから元気よく挨拶する』って言うてるんよ」と話してくれました。新しい「チーム中央」の仲間が増えたことのうれしさと頼もしさを感じ、この子達のおかげでとてもいい一日を過ごすことができました。

給食室でのことです

給食終了後、各教室から給食当番の子供達が、それぞれに給食の用具を給食配膳室に運んできます。それを給食委員の子供達が受け取り、片付けていく。このように給食の後片付けの時間が流れていきます。ある日の出来事です。給食委員の仕事は子供達にとって決して楽しいものではないと思います。しかし、給食の後片付けの様子を見に行くと、給食委員の子供だけでなく、「忙しそうだから」「友達休んでいたから」という理由で、手伝いに来てくれているのです。自分の与えられた仕事が終わればそれで終了」それも合理主義の考えから間違っていないと思いますが、私はこの給食委員の仕事を手伝っている子供達の姿が大好きです。



授業参観・育友会総会にご参加ありがとうございました。



4月19日(金)に、授業参観・担任あいさつ・育友会総会が開催されました。参加して頂いた方々に感謝します。ありがとうございました。本年度初めての授業参観ということで、どの教師も、緊張した面持ちで授業を行っていました(転任してきた教師は特に)。子供達もお家の人に褒めてもらいたくて、一生懸命手を挙げて発表したり、作品作りに取り組んだり、がんばっているところを見せてくれていました。



大人も子供も同じです。みんな褒めてもらいたくてがんばるんです。お互いに、そばでがんばっている人を褒めてあげませんか。



運動会参観お待ちしております

6月1日(土)に春の運動会を予定しています。徒競走・団体競技・ダンス・組み体操など、今年は例年以上に限られた日程の中で、子供達はよりかっこいい姿を家族のみんなに見てもらおうと一生懸命練習に励んでいます。



先日お知らせさせて頂きましたように、今年から地区別の観覧席が無くなりました。例年場所取りなど、保護者の方々の観覧して頂いている姿を見て思うことですが、そのマナーの良さに感心しています。この大人の姿が子供達の最高の教材になっているのだと、感謝しています。今年も「チーム中央」のかっこいい大人達の背中を見せてあげましょう。



しつけは子供を幸せにするもの

千葉で起きた小4女児虐待死事件は、みなさんご存じのことと思います。このような事件は2度と起こしていけないと強く感じています。和歌山が生んだ偉人の一人である松下幸之助さんの言葉に、こんな言葉がありました。「躰の目的は、何も人間を窮屈にするためではなく、あくまでもその人を幸せにするところにある」そして、「今日の私たちには、子供に対する躰だけではなく、自分自身や、おとな同士の躰をあらためて見直すことが、求められているといえよう」その言葉から考えると、「体罰はしつけのため」という理由は、正しいでしょうか。子供が間違ったことをしたときほど、冷静に「人格は褒めて、行動を叱る」ことを忘れずに。そして、子育ては親だけでできるものではありません。家族・親族・地域・学校等々みんな協力しながらするものだと思います。「チーム中央」で子供達を育てていきましょう。